

安曇野市地球温暖化防止実行計画に係る
平成25年度 取り組み結果

エネルギー種別	平成25年度			(基準)平成20年度		(参考)平成24年度	
	使用量	係数	CO2排出量 (kg) (×)	CO2排出量 (kg)	平成20 年度比 (÷)	CO2排出量 (kg)	平成24 年度比 (÷)
電気	10,783,147 kWh	0.481	5,186,694 (68.31%)	4,501,800	15.21%	5,370,494	3.42%
灯油	551,777 L	2.490	1,373,925 (18.10%)	1,282,490	7.13%	1,278,802	7.44%
LPG	89,820 m ³	6.000	538,921 (7.10%)	500,151	7.75%	531,250	1.44%
重油	33,580 L	2.710	91,002 (1.20%)	443,757	79.49%	118,915	23.47%
ガソリン	119,923 L	2.320	278,221 (3.66%)	281,990	1.34%	273,119	1.87%
軽油	47,224 L	2.620	123,726 (1.63%)	141,167	12.35%	154,246	19.79%
合計			7,592,489 (100.00%)	7,151,355	6.17%	7,726,826	1.74%

総括

安曇野市地球温暖化防止実行計画では、平成21年4月から市の事務・事業における温室効果ガス排出量を平成20年度を基準年度として、平成27年度に6.1%以上の削減を目標として取り組みがされてきた。

平成25年度の取り組み結果について、二酸化炭素(CO2)排出量を基準年度と比較する。

CO2排出量は基準年度と比較して、約6.2%(441,134kg)増加という結果になっている。

その理由は、以下のとおりと考えられる。

保育園、交流学習センター、給食センターなどの施設の新築や改築。

保育園、小学校などの冷暖房設備の設置や施設の改修。

猛暑や厳冬などの気候的な要因。

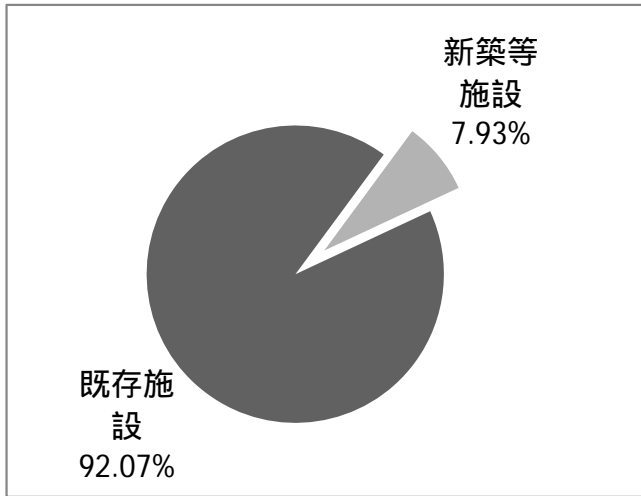
の要因を除けば、約2.4%(161,040kg)減少となっている。

CO2排出量の増減は、施設の更新等に伴う純粋増を除けば、主に猛暑・厳冬など気候的な要因と施設の構造に拠るところが大きいと考えられる。

例えば「使用していない電源は消す」、「冷暖房の設定を適切に行う」、「エコドライブを実践する」などの身近なところから『無駄なエネルギーを減らす』という意識を持つだけで、かなりのCO2排出量の削減が期待できると考える。

(資料)

1.平成25年度CO2排出量に基準年度以降に新築・改築された施設の占める割合



対象施設	増加量 (kg)
堀金保育園	12,885
穂高交流学习センター	233,681
有明の森保育園	16,633
有明あおぞら保育園	59,759
明科北保育園	23,202
豊科近代美術館・豊科交流学习センター	175,068
豊科南部保育園	21,296
北部学校給食センター	51,453
北穂高保育園	8,197
合計	602,173

2.基準年度以降に新築・改築された施設を除いたCO2排出量の比較

エネルギー種別	平成25年度			(基準)平成20年度		(参考)平成24年度	
	使用量	係数	CO2排出量 (kg) (×)	CO2排出量 (kg)	H20年度比 (÷)	CO2排出量 (kg)	H24年度比 (÷)
電気	8,783,359 kWh	0.481	4,224,796 (64.85%)	4,347,853	2.83%	4,290,232	1.53%
灯油	525,153 L	2.490	1,307,631 (20.07%)	1,220,612	7.13%	1,214,259	7.69%
LPG	83,014 m ³	6.000	498,083 (7.65%)	461,539	7.92%	488,591	1.94%
重油	33,580 L	2.710	91,002 (1.40%)	226,957	59.90%	118,915	23.47%
ガソリン	119,130 L	2.320	276,383 (4.24%)	281,697	1.89%	271,288	1.88%
軽油	44,521 L	2.620	116,646 (1.79%)	136,921	14.81%	145,454	19.81%
合計			6,514,539 (100.00%)	6,675,579	2.41%	6,528,739	0.22%